

MoveMic Shure MoveMic

Online user guide for the Shure MoveMic Kit. Pair the MoveMic cliplay to your device or the receiver. Shoot landscape or portrait video. Stream to Facebook or YouTube. Adjust EQ, compression, update firmware, find supported devices, and troubleshoot. Version: 1.3 (2024-C)

Table of Contents

MoveMic Shure MoveMic	3
クイックスタートガイド	3
マイクロホンの装着方法	3
MoveMicのベストプラクティス	3
概要	3
機能	4
Shure MoveMic	4
MoveMicの電源のオンとオフ	4
MoveMic充電ケース	6
充電ケースのステータスLEDインジケーター	6
Shure充電式電池の管理と保管に関する重要なヒント	7
MOTIV Audioアプリケーション	7
MOTIVアプリとのペアリング	7
マイクロホンの設定	8
MOTIV Videoアプリケーション	11
機能	11
ビデオスタンバイモード	12
ビデオ録画モード	13
ライブストリーミング	14
MOTIV Videoアプリを使用したライブストリーミング	14
Facebookなどへ簡単にライブストリーミング	15
Facebookへのストリーミング	15
YouTubeへのストリーミング	15
ストリーミング中の操作	15
ハードウェア受信機	15
MoveMic受信機	15
MoveMic 受信機のLEDインジケーター	16

受信機の調整	17
受信機への接続	18
受信機とのペアリング	19
受信機画面	19
受信機メニューツリー	20
録音のヒント	21
機内モードとおやすみモードをオンにする	21
クリアなサウンドの実現	21
ダークテーマを使用	21
サウンドをモニターする	21
ギャラリー	22
ビデオ再生	22
ビデオ録画の共有	24
MoveMicファームウェアアップデート	24
トラブルシューティング	25
システム要件	26
システム要件および互換性:iOS	26
システム要件および互換性:Android	26
付属品	26
付属品	27
Optional Accessories	27
仕様	27
The MoveMic	27
MoveMic充電ケース	29
MoveMic受信機	30
法的帰属	31
認証	31

MoveMic Shure MoveMic

クイックスタートガイド

- 1. Charge: 電池を初めて使用する際はフル充電を行ってください。
- アプリケーションのダウンロード: App StoreまたはGoogle Playのインストール手順に従ってください。MOTIVアプリケーションを初めて使用する際は、デバイスのカメラとマイクロホンへのアクセスを許可するよう求められます。位置サービスを許可し、使用状況分析をShureと共有することができます。
- 3. ペアリング:充電したMoveMicsを充電ケースから取り出し、電源をオンにし、MOTIVアプリケーションとペアリングしま す。
- 4. 録音:録音を開始する準備ができました。

注:有線接続を使用して録音をモニタリングすることを推奨します。モバイルデバイスを使用するときは、まず有線ヘッドホンを 接続し、次にMoveMicをアプリとペアリングします。ハードウェア受信機を使用するときは、受信機に直接接続します。Bluetooth ヘッドセットの使用中は、録音をモニタリングしないことをお勧めします。

マイクロホンの装着方法

MoveMicを装着するときは、クリップを外側に向け、本体を服の裏側に隠します。こうすると、カメラに写っても目立ちません。



MoveMicのベストプラクティス

MoveMicキットで録音するときは、以下のベストプラクティスに従ってください。

- MOTIVアプリを使用する場合は、常にMoveMicから受信機(MV-Rまたは電話機)までの見通し線を確保します。
- 最適なビデオコンテンツとワイヤレスパフォーマンスが得られるように距離を最短にします。クリエイターの多くは、最適な 写りと最良のサウンドを得るために20フィート(6メートル)内に収めています。
- 送信機本体を服の裏側に取り付けて、カメラに写っても目立たないようにMoveMicを装着します。
- 携帯電話で使用する場合は、通話、メール、アラートなどで録音が中断しないように機内モードとおやすみモードにすること をお勧めします。
- MoveMic製品との接続には、ワイヤレスだけを使用してください。最適なパフォーマンスが得られるよう、ワイヤレスイヤホン、ワイヤレススピーカー、スマートウォッチ、ジンバルといった他のワイヤレスデバイスと同時に使用しないでください。

概要

Shure[®] MoveMic Wireless Lavalier Microphone Systemにより、モバイルデバイスで高忠実度の音声を使用したビデオのライブストリーミングや、音声とビデオの記録を即座に行うことができます。このキットにはMoveMic Lavalier マイクロホンが2つ含まれており、MOTIV Audio and Video録画アプリケーションを使用して、マイクロホンの設定を調整し、録画やウェブストリーミングを行うことができます。外出時でも機能するバランスの取れたトーンのボーカルの明瞭度と離散形が要求される録画に最適なシステムです。

機能

• iOSおよびAndroidデバイスと互換性があります。

注:推奨のAndroidデバイスについては、製品ページの互換性タブを参照してください。MoveMic One、MoveMic Two、MoveMic Two Receiver Kit、 MoveMic Receiverです。

- プラグ&プレイで動作し、縦向きと横向きの撮影に対応
- 革新的な個別のMoveMic設計のハイブリッドマイクロホンとクリップにより、優れた音質と信頼性で、さまざまなものに取り 付け可能
- MOTIV[™] Audio and Video録画アプリケーションでは録音を柔軟に制御可能(リモートゲイン調整設定など)
- 1本または2本のマイクによる録音をサポート

ヒント:着信電話、メッセージ、様々な通知によって録音が邪魔されないようにするには、機内モードとおやすみモードをオンにします。

Shure MoveMic

MoveMicの電源のオンとオフ

電源オン:両方のLEDが2回点滅するまで、MoveMic電源ボタンを3秒間長押しします。電源ボタンを押し続け、MoveMicをペア リングモードにします。

電源オフ:LED電源インジケータが赤色に2回点滅するまで、MoveMic電源ボタンを3秒間長押しします。ボタンを離します。これ で、MoveMicを片付けることができます。

MoveMicのボタンコマンド



	マイクロホンのミュート/ミュート解除	1回押す	
し	電源オン	3秒間長押し	3 sec

Ċ	電源オフ	3秒間長押しするか、マイクロホンを充電ケー スに入れて蓋を閉じる	G 3 sec
*	ペアリングモード	電源オフ状態から6秒間押し続ける	6 sec

MoveMic LEDインジケータ



電源LED

MoveMicオン	緑色で2回点滅
ミュート	赤色で点灯
MoveMicオフ	赤色で2回点滅してからオフ

注:いずれのLEDもない場合は、MOTIVアプリケーションでLEDがオフに切り替えられた可能性があります。



接続LED

ペアリングモード	レッドとブルーを交互に点灯
ペアリング成功	30秒間青色点灯
電池残量低	赤色で点滅が続く
電池残量中	30秒間オレンジ色点灯
電池残量高	30秒間緑色点灯
ロック解除	緑色で点滅
ロック	オレンジ色で点滅
出荷時設定にリセット	緑色と赤色で3回点滅

MoveMic充電ケース

エラー

MoveMic充電ケースは、ポケットに収まるほどコンパクトな保管/充電用ケースです。マグネット式の蓋でしっかりと閉じて、マイ クロホンを安全に保管します。蓋が閉じられマイクロホンが内部にドッキングされていても、ケースの外側にあるLEDインジケー ターを見れば、ケースとMoveMicの電池残量を確認できます。ケースは充電池式で、充電が必要になったら付属のUSB-Cケーブル でラップトップに接続できます。また、充電器(別売)でケースを充電することもできます。

ヒント:マイクロホンを使用していないときは、常に充電ケースにドッキングして蓋を閉じておきます。マイクロホンが充電されるので、すぐに録音を始めることができます。





センターLEDで充電ケースのステータスが示されます。



MoveMicのステータスインジケーターは、各マイクロホンの下側にあります。

ステータス	色
電池残量低下	赤色で点滅
充電中	オレンジ色でゆっくりと点滅
ファームウェアのアップデート進行中	緑色と赤色が交互に点滅

ステータス	色
充電完了	緑色が1分間点灯した後にオフ

1分間何も操作しないと、充電ケースはスリープモードに入ります。ケースを機能させるには、蓋を閉じます。

Shure 充電式電池の管理と保管に関する重要なヒント

Shure充電池を適切に管理し保管することで高い信頼性と長い寿命を保持することができます。

- 充電池と送信機は常に常温で保管してください。
- 充電池を長期的に保管する場合は、最大容量の約40%に充電または放電してから保管してください。
- 長期保管中は、6ヶ月毎に充電池の状態を確認して必要に応じて最大容量の40%に再充電してください。

重要:新しい電池を初めて使用するときは必ず、可能な場合は受信機内で、フル充電してください。

MOTIV Audioアプリケーション

Shure[®]MOTIV Audioアプリケーションを使用して、マイクロホンへの接続、ゲインレベルの調整、オーディオの編集と共有を行い ます。録音時に素早くセットアップできるように、デバイスには最近使用した設定が保存されます。

ヒント:着信電話、メッセージ、様々な通知によって録音が邪魔されないようにするには、機内モードとおやすみモードをオンにします。

MOTIVアプリとのペアリング



丸で囲まれたアイコンが [マイクロホンの追加] アイコンです。

- 1. MOTIVアプリケーションを開き、 [デバイス] アイコンをタップします。
- 2. MoveMicの電源をオンにします。 [電源オン] ボタンを長押しし (6秒間) 、マイクロホンをペアリングモードにします。
- 3. モバイルデバイスのBluetoothがオンであることを確認します。
- 4. MOTIVアプリで、 [マイクロホンの追加] アイコンをタップします。使用可能なマイクロホンのリストにマイクロホンが表示されます。
- 5. 使用可能なマイクロホンをタップしてペアリングします。接続LEDが30秒間青色に点灯すれば正しく接続できたことになり、デバイス設定画面が開きます。

MOTIVにペアリングされたマイクロホンは、次にMOTIVを開くと自動的に再接続されます。

マイクロホンのペアリング解除

一度に最大2つのマイクロホンをMOTIVアプリに接続できます。別のマイクロホンを使おうとしたときに、すでに2つのマイクロホ ンが接続されていた場合は、いったんどちらかのマイクロホンを切断して、その新しいマイクロホン用の接続を確保します。

- 1. [マイクロホンの追加] アイコンをタップして、アプリとペアリングされているマイクロホンをすべて表示します。
- 2. 接続済みのマイクロホンをタップして、そのまま接続状態を維持するか、 [接続を解除して消去] を選択します。
- 3. マイクロホンを切断すると、2つ目のマイクロホンとペアリングするためのチャンネルが使用可能になります。

2つ目のマイクロホンとのペアリング

2つ目のマイクロホンを接続するには、上記のプロセスを繰り返します。

- 1. MOTIVアプリケーションを開きます。1つ目のマイクロホンはすでに接続されています。
- 2. 電源をオンにしたまま2つ目のマイクロホンをオンにして、ペアリングモードにします。
- 3. マイクロホンの追加アイコンをタップします。
- 4. 接続するマイクロホンを選択します。
- 5. マイクロホンがペアリングされます。MOTIVを使用して、必要に応じてマイクロホンのゲインを調整し、ビデオ設定を選択します。

以前ペアリングしていたマイクロホンを接続解除すると、そのマイクロホンは範囲外になることがあります。アプリケーションは最 大30秒間再接続を試みます。必要に応じて、上記の手順に従って手動で再接続します。

マイクロホンの設定

MOTIVアプリは、マイクロホンの設定変更、および音声の録音、編集、共有を行うために使用します。録音時に素早くセットアッ プできるように、デバイスには最近使用した設定が保存されます。

ヒント:着信電話、メッセージ、様々な通知によって録音が邪魔されないようにするには、機内モードとおやすみモードをオンにします。

プリセットモード

3つの選択可能なモードにより、ゲイン、イコライザー、コンプレッションの設定を最適化できます。マイクロホンのレベルを設定 したら、各モードを試してベストな音を見つけます。プリセットモードは、入力信号の強さに影響を与えるため、プリセットを変 更した後は、必要に応じてマイクロホンのレベルを調整してください。

構成	用途	特性
9 スピーチ	発言	明瞭さと豊かさを強調し、適度な圧縮を行うイコライゼーションです。
以 歌声	ソロまたはグループ でのボーカルパ フォーマンス	繊細なイコライジングにより豊かさと明瞭さを高めた自然なサウンドです。

構成	用途	特性
フラット	あらゆる用途	未加工の信号です(イコライザーやコンプレッサーは使用されません)。録音 後に音声を処理する場合に柔軟性を発揮します。

カスタムプリセット

カスタムのプリセットを作成して保存すると、頻繁に使用するマイク設定にすばやくアクセスできます。

- 1. アプリケーションのニーズに最も適したプリセットモードを使用して始め、
- 2. コンプレッサーなどの詳細設定で明瞭さと一貫性を調整します。
- [保存]をタップすると、新しいカスタムプリセットが名前を変更して保存されます。元のプリセットは引き続き使用可能です。
- 4. 新しいカスタムプリセットがリストに追加されます。

保存したプリセットにアクセスするには:

- 1. [プリセット] 行のカラット(矢印)をタップすると、利用可能なプリセットのリストが表示されます。
- 2. カスタムプリセットと [プリセットを適用] をタップすると、ゲイン、ステレオ、イコライザー、コンプレッサーのプリファレンスがすぐに適用されます。

ヒント:カスタムプリセットはいつでも保存できます。[保存]をタップし、現在の設定に新しい名前を指定します。

高度なマイクロホン設定

用途に応じてプリセットモードを選択したら、リミッター、コンプレッサー、イコライザーのコントロールを使用して録音サウンド を微調整します。他の録音および録画アプリケーションを使用している場合、設定はマイクロホンに保持されます。



デバイス名:マイクロホン名をカスタマイズする場合は、[デバイス名]をタップします。

ロック設定:サウンドを調整するときに誤って別の設定が変更されるのを防ぐには、設定をロックします。

LED:マイクロホンプレゼンスをよりディスクリートにするには、マイクロホン送信機のLEDをオフにします。

高出力:長い距離でも録音できるようにするには、マイクロホン送信機を高出力に設定します。高出力にすると、送信範囲が広が ります。

マイクゲイン:マイクゲインスライダーを使用して、マイク入力ゲインを調整します。

ミュート:押すと、マイクロホンのミュートがオンまたはオフになります。

プリセット:プリセットを使用して独自の設定を保存する方法の詳細については、「プリセット」セクションと「カスタムプリセット」 セクションを参照してください。

ノイズ低減:プロジェクターや空調システム、その他の環境ノイズによって生じた信号のノイズの量を大幅に低減します。部屋の ノイズフロアを計算し、最大限の透明度でスペクトラム全体を通してノイズを低減するダイナミックなプロセッサーです。音響が コントロールされ、エコーが最低限に抑えられている部屋で使用します。最も自然なサウンドが得られます。

コンプレッサ:圧縮なし、またはライトまたはヘビーのいずれかの圧縮を選択して、音源がダイナミックの場合の音量をコント ロールします。コンプレッサーはダイナミックレンジを狭めます。つまり、レベルが低い信号をブーストし、レベルが高い信号は抑 えます。

ハイパスフィルター:最も自然な音にする場合はHPFなしを選択します。75 Hzまたは150 Hzを選択すると、ウィンドノイズ、 ルームノイズまたは近接効果を低減できます。

- 75 Hz低周波数カットオフ 75 Hzで、オクターブあたり6 dBのカットオフを提供します。床のゴトゴトというノイズや空調装置が発する低周波の室内雑音を低減します。この設定はまた、近接効果の補正、または楽器の音を鈍くさせたり濁らせたりする低域を低減させるためにも使用できます。
- 150 Hz低周波数ロールオフ 150 Hzで、オクターブあたり6 dBのロールオフフィルターを提供します。これを使用し、近接効果の補正、または楽器の音を鈍くさせたり濁らせたりする低域を低減させるためにも使用できます。

イコライザ:プリセットモードを変更してDSPの変化を聴き、イコライザーを使って周波数の帯域をブーストまたはカットし、音をクリアにします。

特定する:どのマイクロホンが1つ目か2つ目かを忘れても、受信機メニューで[特定する]を選択すれば、すぐに混乱を解消でき ます。LEDが点滅するため、簡単に識別できます。

MOTIV Videoアプリケーション

Shure MOTIV Video録画アプリは、モバイル端末で非圧縮音声付きのビデオ録画を即座に行うことができます。デジタル信号処理 (DSP)のプリセットモードモード、ゲイン調整、およびステレオ幅調節で音質のカスタマイズが可能です。

機能

• iOS、Android、PC、およびMacデバイスと互換性があります。

注:推奨されるAndroidデバイスについては、https://www.shure.com/ja-JP/motiv-compatibilityを参照してください。

- プラグ&プレイで動作し、縦向きと横向きの撮影に対応
- ゲイン調整の設定を含む柔軟な録音コントロール
- モノラルおよびステレオの音声デバイスに対応
- MOTIVマイクロホンを使用するときに、さまざまな録音状況に対応したプリセットモードが利用できます。

ヒント:着信電話、メッセージ、様々な通知によって録音が邪魔されないようにするには、機内モードとおやすみモードをオンにします。

ビデオスタンバイモード



①フラッシュ 暗い場所での撮影時にフラッシュを使用できます。

②接続デバイス/記録長/フォーカスロック接続デバイスの状態には、接続MOTIVデバイスのモデル名が表示されます。録音時間は、時、分、秒の単位で表示されます。イメージフォーカスおよび露出の設定については、「ビジュアル設定」セクションを参照してください。

③ズームレベル/カメラの切り替え画面をピンチして、ズームレベルを調整すると、被写体をより近くで見ることができます。矢印の丸いアイコンをクリックすると、前面カメラと背面カメラを切り替えることができます。前面カメラを使用してセルフ動画を撮影できます。

④オーディオ/ビデオ品質設定オプション列からオーディオファイルタイプ、サンプリングレート、ビデオフレームレート、ビデオ解 像度を選択します。

注:オプションの有無は、お使いのモバイル端末の仕様によって異なる場合があります。

- オーディオファイルタイプ:WAV、ALAC、AAC
- ・サンプルレート: 44.1 kHz、48 kHz
- ・ビデオの解像度:720p、1080p、4K
- フレームレート: 24 fps、30 fps、60 fps

⑤ライブストリーミングタップすると、ライブストリーミングのオプションにアクセスできます。ライブストリーミングのオプションについては、「ライブストリーミング」セクションを参照してください。

⑥設定アプリケーションの設定スプロケットアイコンをタップすると、オーディオとビデオの品質、顔検出、ライト/ダークテーマの外観の選択、バージョン情報、ヘルプ資料、フィードバックの送信などができます。

⑦録画/停止ボタン

⑧デバイス設定タップすると、[デバイス設定]画面にアクセスして、マイクロホンをアプリとペアリングできます。

⑨グリッド/レベル/ディスプレイをオフタップすると、グリッドラインまたは簡易画像合成のためのレベルを表示できます。また、 きれいな表示がお好みの場合は、この機能をオフにしてください。

⑩電池残量/空き容量撮影に使用しているデバイスの電池残量の割合および空き容量を表示します。

⑪入力メーター/マイクロホンゲイン入力信号の強さを表示します。入力メーターをタップすると、マイクロホンゲインと直接モニタリング用のスライダーが表示されます。録音中に音源の音量に合わせてマイクロホンのゲインを調整することができます。レベルが目安の範囲(入力メーターの網掛け部分)内に収まっていることをライブで調整します。

撮影設定

ビジュアル設定を調整して、最も見栄えのするビデオ画像を得るようにしてください。この順番で調整することをお勧めします。 **ズーム:**ピンチ操作で拡大·縮小し、フレーミングして撮影できます。 明るさ:上下にスワイプして、明るさレベルを設定します。

フォーカス:タップしてフォーカスを合わせるか、タップして長押しして、明るさとフォーカスが固定します。もう一度タップする と、ロックが解除されます。

(+)

マイクロホンゲインスライダー

音量を素早く調整したい場合は、マイクロホンゲインスライダーにアクセスします。入力メーターをタップして、マイクロホンゲイ ンウィンドウを開きます。スライダーを使用して、各入力の音量を決定します。音量の調整が終了したら、マイクロホンゲインス ライダーウィンドウの外側をタップして、スタンバイビューまたは録音ビューに戻ります。



上部のスライダーでは1つ目のマイクロホンのゲインを調整し、下部のスライダーでは2つ目のマイクロホンのゲインを調 整します。



ビデオ録画モード

①フラッシュ 暗い場所での撮影時にフラッシュを使用できます。

②接続機器の状態/記録長/フォーカスロック 接続機器の状態には、接続MOTIV機器のモデル名が表示されます。録音時間は、時、分、秒の単位で表示されます。ビデオ録画中は、赤い点が点滅します。フォーカスおよび露出の設定に関する詳細については、「ビジュアル設定」の項を参照してください。

③ズームレベル 画面をピンチして、ズームレベルを調整すると、被写体をより近くで見ることができます。

④録画 / 停止ボタン ビデオ録画を開始および停止します。

注:動画ファイルは、モバイル端末の写真アプリに保存されます。

⑤カメラビデオの録画中にスナップショットを撮ります。

⑥音声の録音MOTIV録画アプリケーションは、録音中の音声波形を表示します。

⑦グリッドグリッド線を使用すると構図を決めやすくなります。

⑧電池残量/空き容量撮影に使用しているデバイスの電池残量の割合および空き容量を表示します。

⑨入力メーター入力信号の強さを示します。入力メーターをタップすると、マイクロホンゲインと直接モニタリング用のスライダーが表示されます。録音中に音源の音量に合わせてマイクロホンのゲインを調整することができます。レベルが目安の範囲(入力メーターの網掛け部分)内に収まっていることをライブで調整します。

圧縮フォーマットでの録音

MOTIVアプリは、非圧縮のオーディオファイルに録音して、最高品質の録音を実現しています。ただし、圧縮ファイルフォーマットで録音した方が便利なこともあります。圧縮ファイルにすると、記憶領域が少なくて済むため、デバイス上の録音領域を増やすことができます。また、データの使用量が少ないため、メッセージや電子メールで簡単に圧縮ファイルを共有できるようになります。デモや初期のアイデアを録音する場合は、最高の忠実度で録音するよりもアイデアを捉える方が重要になるため、圧縮フォーマットの使用を検討してください。

どちらのフォーマットを選べばよいかよくわからない場合は、まずは最高の品質が得られる設定にします。ファイルのサイズを小さ くした方がよいとわかれば、後でライブラリからいつでもファイルを圧縮できます。利用できるファイル形式の詳細については、 「サポートされるオーディオフォーマット」セクションを参照してください。

覚えておいてください。圧縮オーディオを非圧縮フォーマットに、非圧縮オーディオを圧縮フォーマットに、あるタイプの圧縮 フォーマットを別のタイプに、それぞれ変換できます。ただし、編集できるのはWAVファイルだけです。ファイルを編集する必要 がある場合は、まずそのファイルをWAVファイルに変換します。

ライブストリーミング

MOTIV Videoアプリを使用したライブストリーミング

Shure MOTIV Videoアプリを使用すると、MoveMic OneとMoveMic Twoを使用して電話機と直接接続しつつ、Facebookや YouTubeと接続してライブストリーミングを行うことができます。これにより、ライブビデオフィードをキャプチャして、ストリー ミングしながらプロ並みのオーディオ品質に調整できます。

試運転の録音

ほとんどのストリーミングサービスでは、限定した視聴者や内輪の人間だけを対象に非公開のテストストリームを開催できます。 こうした機会を利用して、実際に稼働させる前に機器をテストし、どのような設定が最も適しているかを判断できます。

- 1. MOTIV Videoアプリを起動します。必ず最新バージョンのアプリを使用してください。
- 2. ライブストリーミングを開始する前に、オーディオ/ビデオ設定を構成します。
- 3. ClipLavをステレオ録音の場合は2つ、モノラル録音の場合は1つ接続します。いったん録音が始まったら、ライブストリー ミングを停止しない限り、ステレオオーディオとモノオーディオを切り替えることはできません。
- 4. コンプレッサーなどのオーディオ設定で明瞭さと一貫性を調整します。
- 5. ライブストリーミングのセッション中、オーディオ入力モニタリングとオーディオダイレクトモニタリングが使用可能になり、ビデオ録画モードと同じように動作します。
- 6. [保存] をタップして、ライブストリームプリセットの名前を変更するか、デフォルト名を使用します。カスタムプリセットがプリセットリストに追加されます。

MOTIVアプリを使用すると、ライブストリーミングやビデオの録画を行うことができます。ただし、デバイスへの同時ライブスト リーミングやビデオ録画はサポートされていません。

ヒント:モニターにイヤホンが付いていれば、エコーを導入しなくても再生を聴くことができます。

Facebookなどへ簡単にライブストリーミング

Facebookへのストリーミング

- 1. MOTIV Videoアプリを開きます。
- 2. ClipLavをペアリングします。
- [ライブストリーミング] アイコンをタップし、 [Facebookライブ] を選択します。Facebookのログイン画面が開きます。
- 4. 始める前に、タイトルと説明を追加します。視聴者、投稿先(タイムライン、ページ、グループ)、ストリームビットレート、ビデオ画質を選択します。
- 5. [ライブ配信を開始]をタップします。ライブストリーミングまでのカウントダウンが始まり、その後ライブ配信が始まり ます。ブロードキャストを開始します。
- 6. 赤色の [録音停止] ボタンをタップして、MOTIVアプリからブロードキャストを終了します。

YouTubeへのストリーミング

- 1. MOTIV Videoアプリを開きます。
- 2. ClipLavをペアリングします。
- 3. [ライブストリーミング] アイコンをタップし、 [YouTube] を選択します。YouTubeのログイン画面が開きます。
- YouTubeアカウントにログインします。注:YouTubeチャンネルの登録者数が50人に満たない場合は、RTMP/RTMPS接続を使用してストリーミングするように求められます。
- 5. 始める前に、タイトルと説明を追加します。可視性(公開または非公開)、ストリームビットレート、ビデオ画質を選択し ます。
- 6. [ライブ配信を開始]をタップします。ライブストリーミングまでのカウントダウンが始まり、その後ライブストリーミン グがライブ配信されることが通知されます。ブロードキャストを開始します。
- ライブストリーミングのスケジュールを事前に設定していた場合は、そのストリーミングのオプションを選択できるほか、 アプリから新しいストリーミングを開始することもできます。
- 8. [ライブストリーミングを終了]をタップして、MOTIVアプリからブロードキャストを終了します。

ストリーミング中の操作

- 1. MOTIVアプリ内から視聴者が投稿したコメントやいいねをモニタリングできます。
- 2. ライブストリーミング視聴者数を表示すると、現在見ている視聴者の数を知ることができます。

ストリーミングを別のプラットフォームから始める場合は、MOTIVアプリの最初のアカウントからログアウトします。これで、自由に別のアカウントにログインできるようになります。一度に複数のアカウントでストリーミングすることはできません。

ハードウェア受信機

MoveMic受信機

MoveMic Two Receiver Kitでは、MoveMicキットにハードウェア受信機を追加することで、録音のオプションを拡大できます。マ イクロホンを設定できる機能が、手のひらサイズのポータブルパッケージに収められています。信じられないほどクリアなオーディ オ、長距離伝送、使いやすいといった特徴を備えています。受信機を電話機やカメラに接続します。コールドシューマウントを使 用すると、簡単に取り付けられます。MOTIV Videoアプリをダウンロードすると、ポータブルコンテンツ作成キット全体の内容を 確認できます。



フロントパネル

①LEDステータスインジケーターマイクロホン接続、電池残量、充電レベルに関連する受信機情報を表示します。インジケーター ステータス情報については、「MoveMic受信機のLEDインジケーター」セクションを参照してください。

②チャンネル1/チャンネル2ステータス接続ステータス、マイクロホン名、電池残量時間(%)、オーディオゲインレベルを表示します。詳細については、「受信機セットアップ」セクションを参照してください。

③**ナビゲーションボタン**左側のXボタンを使用すると、キャンセルできます。右側のボタンを押すと、受信機メニューを移動しなが ら選択肢を入力または選択できます。また、右側のボタンで指向性の切り替えもできます。

④コールドシューマウントコールドシューマウントを使用すると、カメラまたはカメラアクセサリーに受信機を固定できます。
 ⑤電源ボタン押したままにすると、受信機の電源をオン/オフにできます。

MoveMic 受信機のLEDインジケーター



LEDインジケーター

ステータス	色
マイクロホンとの接続検索中	青色が点滅

ステータス	色
接続済み	青色点灯
電池残量低	赤色で点滅が続く
充電プロセス中	オレンジ色で点滅
I.2-	赤色でゆっくり点滅が続く
充電完了	緑色で60秒点灯してからオフ

受信機の調整

受信機にはヒンジがあり、90度水平または垂直に回転させて、録音時に邪魔にならないようにしっかりと固定できます。



受信機の位置の調整

受信機への接続

カメラへの接続



カメラの上部にあるコールドシューにMoveMic受信機を取り付けます。付属の3.5mm to 3.5mmケーブルを使用して、カメラに受 信機を接続します。

電話機への接続



付属のUSB-C to USB-Cケーブルを使用して、電話機またはコンピュータにMoveMic受信機を接続します。サードパーティアプリ の互換性を確保できます。

受信機とのペアリング

重要:MoveMicと受信機を初めて使用する場合は、事前にどちらもフル充電されていることを確認してください。

- 1. 充電ケースからマイクロホンを取り外して、ペアリングモードに入ります。(ボタンを6秒間押し続け、青色の光が点滅したら離します)。
- 2. 受信機で、 [マイデバイス] メニューに移動します。 [新しいマイクロホンを接続] を選択します。
- 3. [マイクロホンの検索] メニューでペアリングできるマイクロホンを選択します。

以前にペアリングしたことがあるマイクロホンは、次回使用すると自動的に再接続されます。

受信機画面

MoveMic受信機では、マイクロホン名の変更、マイクロホンと電池のステータスの確認、様々な入力ソースとの接続を行うことができます。



①マイクロホンの接続強度マイクロホンと受信機間の接続レベルを表示します。
 ②マイクロホン名マイクロホンを識別できる名前を表示します。
 ③マイクロホン電池残量電池残量を示すアイコンと割合を表示します。
 ④マイクロホンステータスマイクロホンのタイプとゲインの情報を表示します。
 ⑤マイクロホンレベルメーター音声信号レベルとピークを表示します。

受信機メニューツリー

Main Menu



マイデバイス

- ・「マイク名」: 接続されたマイクロホンの名前を表示します。各マイクロホンを簡単に識別できるように名前を変更できます。
- ゲイン/ミュート:最大音量がメーターのおよそ75%でピークに達するようにマイクロホンごとにゲインを調整して、最良のサウンドを確保します。
- ・オーディオエフェクト:オーディオ設定で最良のサウンドを調整します。
- LED:送信機のLEDをオフまたはオンにします。
- 特定する:どのマイクロホンが1つ目か2つ目かを忘れても、受信機メニューで[特定する]を選択すれば、すぐに混乱を解消できます。送信機のLEDが点滅するため、簡単に識別できます。
- モード:プリセットを使用すると、アプリケーションに合わせて素早く設定を最適化できます。

出力設定

セーフティトラック:セーフティトラックとは二次録音のことで、オーディオに何か起きた場合に備えてバックアップファイルを確保しておくことができます。ここでセーフティトラックのゲインを設定できます。

モニタリング

ディスプレイ設定

- LED:送信機のLEDをオフまたはオンにします。
- 画面:受信機画面の明るさを調整します

出荷時設定にリセット:受信機が誤動作した場合は、[出荷時設定にリセット]を使用して、デバイスを出荷時設定に完全にリ セットします。

バージョン情報:[バージョン情報]画面には、保有している最新のソフトウェアとファームウェアのバージョンが表示されま す。カスタマーサポートに問い合わせた際に、この情報を提供するように求められることがあります。

高出力:出荷時の受信機は、高出力がオンに設定されています。



マイクロホンをペアリングすると、そのマイクロホンがメニューツリーの最上位に移動するので、素早くマイクロホンの調 整を行うことができます。

録音のヒント

機内モードとおやすみモードをオンにする

マイクロホンをモバイルデバイスに接続するときは、必ず機内モードとおやすみモードを有効にしてください。着信電話、メッセージ、様々な通知によって録音が邪魔されないようにするには、この設定を行うことが重要です。

注:音声ファイルに地理的位置情報を追加するには、機内モードはオフのままにします。

クリアなサウンドの実現

MoveMic受信機を使用しているときに最適な信号対雑音比を得るためには、まずは出力レベルを [ライン] レベルに設定した状態 で開始し、カメラでの音量を低くします。次に、信号がピークなしで最も強くなるまで音量を上げていきます。これでうまくいか なければ、出力レベルを [マイクロホン] レベルに切り替えます。

ダークテーマを使用

ダーク画面オプションを選択すると、デバイスアプリケーションの表示が明るいグレーから非常に濃いグレーに変わります。暗い 表示は、照明が暗い環境で目立たず録音を行うのに最適です。画面を暗くすると電池寿命も長くなります。

テーマ表示設定にアクセスするには、 [設定] > [外観] に移動します

サウンド をモニターする

有線接続を使用して録音をモニタリングすることを推奨します。MoveMicを使用する場合は、まず有線ヘッドホンを接続し、次に MoveMicをアプリとペアリングします。Bluetoothヘッドセットを使用しながら録音をモニタリングする操作は、現時点ではサポー トされていません。受信機では、ヘッドホン出力を受信機から直接モニタリングできます。録音しながらモニタリングすると、必 要に応じて音量を調整して最高品質の録音を得ることができます。 注:モニタリングの音量を調整する場合は、電話機のボタンを使用してください。

ギャラリー



グリッドビューでのギャラリーの例。

①閉じる: [閉じる] をタップすると、ビデオギャラリ―が終了します。

②ギャラリービュー/並べ替え:ドロップダウンメニューを使用して、ギャラリーと並べ替えのビューを選択します。

- リストビューでは、ファイルの詳細が表示されます。グリッドビューでは、サムネイルとファイルの長さが表示されます。カードビューでは、スクロール可能な全画面で画像がファイル情報とともに表示されます。
- 並べ替えでは、ビデオが日付やサイズ別に表示されます。

③トラックリスト:録画済みのビデオのコレクションが表示されます。

注:iOSユーザーは、スポットライト機能を使用して、MOTIVライブラリ内のファイルを検索できます。

ビデオ再生

ギャラリー内のビデオをタップすると、再生ウィンドウが表示されます。



ビデオ再生ウィンドウには次のものが表示されます

- トラック情報:オーディオとビデオのフォーマット、ビット深度、サンプリングレート。
- トラックアートワーク:一般によく見られるサムネイル。
- ・ファイル情報:録画日時。
- **タイムライン:**トラックのどの部分を現在再生しているかを確認できます。タイムラインの周囲に経過時間と残り時間が表示 されます。
- 共有、再生、削除:ビデオを共有します。ビデオの巻き戻し、再生/一時停止、早送り、完全削除が行えます。



ビデオ録画の共有

カメラロールへの保存

オーディオファイルから動画ファイルに変換すれば、デバイスの写真アプリ(カメラロールまたは写真)からソーシャルメディアで 簡単に共有できるようになります。

- 1. MOTIVアプリケーションを開き、ライブラリに移動します。
- 2. タップして、共有または変換するファイルをハイライト表示にします。
- 3. 3つのドットをタップして、ファイルオプションを表示します。
- 4. Shareボタンを選択します。
- 5. Save to Camera Rollを選択します。
- 6. 必要に応じてサムネイルを保存したり、MOTIV画像を使用したりできます。
- 7. 変換は自動的に行われます。大きなファイルの変換には時間がかかります。

注:カメラロールへの保存を初めて行うとき、アプリケーション間のファイル共有の許可が求められます。誤って許可に同意しないとした場合でも、デバ イス設定からいつでもアクセス許可を変更できます。許可すると、写真アプリ内にMOTIVフォルダーが作成されます。

8. 変換処理が完了すると、トラックが共有可能になったことを知らせる成功通知が表示されます。

Dropbox[™]への保存

MOTIVファイルをDropboxに保存してバックアップコピーを保管したり、iOS機器の使用可能領域を増やしたり、ソーシャルメ ディアで共有したりできます。

- 1. MOTIVアプリケーションを開き、ライブラリに移動します。
- 2. タップして、共有するファイルをハイライト表示にします。
- 3. 3つのドットをタップして、ファイルオプションを表示します。
- 4. [共有] 、 [詳細] 、 [Dropbox] の順に選択します。

注:場合によっては、MOTIVとDropboxの間にアクセス権を付与する必要があります。「許可」を選択すると、Dropbox内にMOTIVフォルダーが作成さ れ、アプリケーションがリンクされます。

5. ファイルのアップロードが完了すると、ファイル保存完了通知が表示されます。

注:大きなファイルのアップロードには時間がかかることがあります。

これでファイルがDropboxにアップロードされ、録音のバックアップコピーを保管したり、それをソーシャルメディアで共有したり できます。

AirDrop[®] & MOTIV

MOTIV は選択した連絡先にAirDropでWAVファイルを送信する機能をサポートしています。

- 1. MOTIVアプリケーションを開き、ライブラリに移動します。
- 2. タップして、共有するファイルをハイライト表示にします。
- 3. 3つのドットをタップして、ファイルオプションを表示します。
- 4. [共有] 、 [詳細] 、 [AirDrop] の順に選択して、AirDropの問い合わせ先を表示します。

MoveMicファームウェアアップデート

ファームウェアは各コンポーネントに埋め込まれたソフトウェアで、各機能を制御します。定期的に新しいバージョンがリリース され、機能の追加や拡張が行われます。設計の改善点を活かすには、アプリからの求めに応じて最新バージョンのファームウェア をダウンロードします。 **充電ケースアップデートのヒント:**最適な結果を得るには、アップデートの前に、MoveMicsが充電ケースの中にドッキングされ、 フル充電されていることを確認してください。正しいLightningケーブルまたはUSBケーブルを使って、充電ケースをデバイスに接続します。充電ケースがオレンジ色に点滅して、ファームウェアのアップデート中であることを示します。

ファームウェアのアップデートに問題が生じた場合は、Shure Update Utilityを使用して、新しいバージョンのファームウェアを アップロードしてインストールできます。

トラブルシューティング

問題	解決策
マイクロホンがMOTIVとペアリ ングされない	マイクロホンが待機状態で使用されていない場合、ケースに戻された場合、または電話機が スリープモードになった場合に、マイクロホンのペアリングが解除されることがあります。 アプリを閉じて再度開きます。マイクロホンが自動的に再ペアリングを試みます。 再度ペアリングするには、マイクロホンの追加アイコンをタップします。ステータスバーに マイク名が表示されれば、接続はしっかりと確立されています。 引き続きペアリングの問題が発生する場合は、マイクロホンのアイコンをタップし、[消 去]を選択します。次に、このクリーンスタートでペアリングの手順に従います。
マイクロホンがペアリングされて いるが、オーディオメーターに信 号が示されない。	マイクロホンの使用に当たり、MOTIVにマイクロホンの使用許可を与えるため、[設定] > [プライバシー] > [マイクロホン]の下にある録音機器用プライバシー設定を編集しま す。
音質が悪い、または遠くに聴こ える	内蔵マイクロホンではなくMoveMicから音声を得ていることを確認するため、MoveMicが接続されていることを確認します。アプリにマイク名が表示されれば、接続はしっかりと確立 されています。 ハードウェア受信機を使用している場合は、ケーブルがしっかりと接続されていることを確 認します。
音が歪む	オーディオメーターを見て、音量のピークが目安の範囲内(グレーの範囲)になるようにし ます。レベルが入力メーターの赤色のピークインジケータに達している場合には、入力メー ターをタップしてマイクロホンゲインにアクセスし、スライダーを使用してゲインを下げま す。
オ―ディオがビデオと同期して いない	フレームレートや解像度の低いサイズに切り替えてください。システム負荷の少ないフレー ムレートを使用することで、より良いパフォーマンスを達成できるかもしれません。
オーバーヒートによる録音停止	MOTIV Video録画アプリケーションは、デバイスの過熱に対応するため、メーターと波形表 示を無効化します。デバイスがオーバーヒートし続ける場合、MOTIVは録画を保存して シャットダウンします。新しい録画を開始する前に、デバイスが冷えていることを確認して ください。
ファイルを共有できない	ファイルが大きすぎて共有できない場合、ファイルサイズを小さくするためのいくつかのオ プションがあります。 ファイルを圧縮ファイル形式に変換します。 モバイルデバイスをコンピューターに接続し、iTunesのようなファイル転送を使用して、デ スクトップにファイルをダウンロードします。

問題	解決策
	トラックを2つに分割し、両方のファイルをエクスポートし、オーディオ編集ソフトウェアを 使用してそれらを再結合します。
一般的なトラブルシューティン グ	マイクロホンとデバイスがすべて充電されていることを確認します。 MOTIVが最新バージョンに更新されていることを確認します。 お使いの携帯電話のオペレーティングシステムが最新バージョンに更新されていることを確 認します。 別のデバイスを使用して、マイクロホンがどのように動作するかを確認します。 アプリケーションを閉じて再起動します。 デバイスの電源を落として再起動するとキャッシュがクリアされ、ソフトウェアのパフォー マンスを向上させることができます。
出荷時設定にリセット	MoveMic、充電ケース、受信機、アプリなどが応答しなくなった場合は、必要に応じてその 機器やアプリを出荷時の設定にリセットして出荷時の設定を復元します。 MoveMic:MoveMicボタンをオフに切り替えて、出荷時の設定にリセットします。次に、 電源ボタンを素早く2回押し、さらにもう一度10秒以上押し続け、リセットしたら離しま す。リセットの間、MoveMicは緑色と赤色に3回点滅します。 充電ケース: ケースの内側にピンホールリセットがあります。 受信機: [出荷時設定にリセット]は、ハードウェア受信機メニューの下部近くにありま す。 MOTIVアプリ:アプリケーションを閉じて再起動します。

システム要件

システム要件および互換性:iOS

- iOS: iOS 15以降
- iPhone: iPhone 12以降
- iPad : iPad Pro (USB-C)

システム要件および互換性: Android

以下を備えているすべてのAndroid機器で作動します。

- Android 12.0 (Snow Cone) 以降
- USB Audio Class 2.0以降対応
- Bluetooth 5.0以降

Androidは、Google Inc.の商標です。

```
注: 推奨のAndroidデバイスについては、製品ページの互換性タブを参照してください。MoveMic One、MoveMic Two、MoveMic Two Receiver Kit、MoveMic Receiverです。
```

付属品

付属品

MV-ONE

- MoveMic Lav × 1
- フォームウィンドスクリーン×1
- ・ AMV-USBC-USBC15:USB-C to USB-Cケーブル(15インチ)×1
- 充電ケース×1

MV-TWO

- MoveMic Lavs × 2
- フォームウィンドスクリーン×2
- ・ AMV-USBC-USBC15 : USB-C to USB-Cケーブル $(15 インチ) \times 1$
- 充電ケース×1

MV-TWO-KIT

- MV-R × 1
- MoveMic Lavs × 2
- フォームウィンドスクリーン×2
- ・ AMV-USBC-USBC15:USB-C to USB-Cケーブル(15インチ)×1
- 充電ケース×1
- ローラーバッグ×1

Optional Accessories

• AMV-USBC-LTG15: 1 USB-C to Lightning cable, 15"

仕様

The MoveMic

周波数特性

 $50 \text{ Hz} \sim 20 \text{ kHz}$

```
ダイナミックレンジ
100 dB、Aウェイト
```

S/NEL

68 dB SPL (Aウェイト)

等価入力ノイズ

26 dB SPL (Aウェイト)

最大SPL

130 dB SPL

定格電圧

3.7 V DC

感度 (MV-LAVあり)

-37 dBFS @94 dB SPL (Pascal RMS × 1)

ビット深さ

24ビット

サンプリング周波数 48 kHz

ゲイン調整範囲

 $0 \sim 60 \text{ dB}$

Range

見通し線上最大30 m(100フィート)

無線周波数範囲

2,400 MHz~2,483.5 MHz

テクノロジー

Bluetooth省エネルギーと独自仕様

RF**送信出力**

SC7LW	+16 dBm
SC6LW	+9.82 dBm

寸法

46 mm x 22 mm x 15 mm (1.81インチ x 0.87インチ x 0.59インチ)

重量 (ウィンドスクリーンなし)

8.2g(0.29オンス)

外装仕様

ブラック仕上げ熱可塑性PC/ABS

防水ランク

IPX4

電池タイプ

充電式リチウムイオンコイン電池

電池持続時間(電話機と直接接続)

標準出力:	最大11.3時間
高出力[1]:	最大8.7時間

アンテナ

銅·ニッケル·亜鉛合金の鉄板

[1]高出力は南北アメリカで適用されます。すべての地域で利用できるわけではありません。

サポートされるオーディオフォーマット

Android

PCM/WAV	最大352 KHz
AAC	256,128,96

iOS

PCM/WAV	最大352 KHz	
MP4オーディオ	オーディオファイル:.mp4、.m4a、.m4p、.m4b	
AAC	256、128、96	
ALAC	オーディオファイル:Apple Lossless	

MoveMic充電ケース

MFi認証取得済

対応

寸法

74.5 mm x 53.3 mm x 33.2 mm (2.93インチ x 2.10インチ x 1.31インチ)

重量

80.3g(2.83オンス)

外装仕様

ブラック仕上げ熱可塑性PC/ABS

電池タイプ

充電式リチウムイオンコイン電池

定格電圧

3.7 V DC

電池動作温度

 $2 \sim 35^{\circ}C$ (35.6 ~ 95°F) [1]

バッテリー充電時間 2.5時間

USB**ホストパワ―であること** ≥100 mA

[1]充電速度は、温度が低くなるほど(2~15°C(35.6~59°F))遅くなります。

MoveMic受信機

MFi認証取得済

あり

周波数特性

50 Hz~20,000 Hz

ダイナミックレンジ

100 dB、Aウェイト

S/NEL

68 dB SPL (Aウェイト)

等価入力ノイズ

26 dB SPL (Aウェイト)

最大SPL

130 dB SPL

感度 (MV-LAVあり)

-37 dBFS @94 dB SPL (Pascal RMS × 1)

ビット深さ

24ビット

サンプリング周波数 48 kHz

ゲイン調整範囲

 $0 \sim 60 \text{ dB}$

- **最小負荷インピーダンス**(ヘッドホン) 16 Ω
- **最大ヘッドホン出力レベル** 26.4mW @ 1% THD
- 最小負荷インピーダンス (カメラ出力)

2k Ω

最大カメラ出力レベル(マイクロホン)

-26 dBV

最大カメラ出力レベル (ライン)

-8.3 dBV

Range

見通し線上最大30m(100フィート)

無線周波数範囲

2,400 MHz ~ 2,483.5 MHz

RF送信出力

SC7LW	+16 dBm
SC6LW	+9.82 dBm

寸法

52.8 x 67 x 19 mm (2 x 2.64 x 0.75インチ)、高さ×幅×奥行き

質量

81g(2.86オンス)

外装仕様

ブラック仕上げPC/ABS

アンテナ

鉄板 (錫メッキ鋼)

電池タイプ

VDL 652133-SH電池パック

電池持続時間 (MoveMicからMV-R受信機)

標準出力:	最大 8 時間
高出力[1]:	最大7時間

電池持続時間 (MV-R受信機)

標準出力:	最大 8 時間
高出力[1]:	最大7時間

[1]高出力は南北アメリカで適用されます。すべての地域で利用できるわけではありません。

法的帰属

https://content-files.shure.com/attributions/move-mic-attributions.pdf

認証

次の欧州指令の必須要件を満たします:

- WEEE指令2012/19/EU (2008/34/EC改正)
- RoHS指令EU 2015/863

注:電池および電子廃棄物については地域のリサイクル方法に従ってください

CEに関する通知

ここに、Shure Incorporatedは、CEマーキングの付いた本製品が欧州連合の要件に準拠していると判断されたことを宣言します。 EUの適合宣言書の全文は以下のサイトでご覧いただけます。https://www.shure.com/en-EU/support/declarations-of-conformity

UKCAに関する通知

ここに、Shure Incorporatedは、UKCAマーキングの付いた本製品がUKCAの要件に準拠していると判断されたことを宣言します。

UKの適合宣言書の全文は以下のサイトでご覧いただけます。https://www.shure.com/en-GB/support/declarations-of-conformity

本产品不支持快充, 要求的电源适配器	消费者若使用电源适配器供电,则应购买配套使用获得CCC认证并满足标准
Aviso de ANATI	EL:
Modelo Regulatório	SC7LW
"Este equipamento não ter devidamente autorizados"	n direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas
Este produto está homolog produtos para telecomunio referente a campos elétrico	ado pela Anatel de acordo com os procedimentos regulamentados para avaliação da conformidade de ações e atende aos requisitos técnicos aplicados, incluindo os limites da Taxa de Absorção Específica ıs, magnéticos e eletromagnéticos de radiofrequência.
	Valores de SAR medidos
Co	rpo: 0,288 W/Kg, à distância de 0mm - Tecnologia Bluetooth Low Energy PHY 1M



Made for iPad (5th generation), iPad (6th generation, iPad (7th generation, iPad (8th generation), iPad Air 2, iPad Air 3, iPad Mini 4, iPad Mini 5, iPad Pro 9.7-inch (1st generation), iPad Pro (12.9-inch) 1st generation, iPad Pro 10.5-inch 2017 (2nd generation), iPad Pro 12.9-inch 2017 (2nd generation), iPhone 6s, iPhone 6s Plus, iPhone SE, iPhone 7, iPhone 7 Plus, iPhone 8, iPhone 8 Plus, iPhone X, iPhone Xs, iPhone Xs Max, iPhone XR, iPhone 11, iPhone 11 Pro, iPhone 11 Pro Max, iPhone 12, iPhone 12 Pro, iPhone 12 Pro Max, iPhone SE 2, iPod Touch (7th generation).

iPad, iPhone, iPod and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad Air, iPad mini, and Lightning are trademarks of Apple Inc. The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.